

実績報告書

届出者	住所	大阪市中央区高麗橋2丁目1番2号	氏名	野村殖産株式会社 取締役社長 門前 一夫
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		所有不動産（ビル・マンション）の管理、運営		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 28 年 4 月 1 日～	平成 31 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(27)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	4,504 t-CO ₂	4,602 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	5,101 t-CO ₂	5,217 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (30 年度)	第1年度 (28 年度)	第2年度 (0 年度)	第3年度 (0 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	0 %	0 %	0 %	0 %
	レ 削減率(原単位ベース)	5 %	-2.2 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		5 %	-2.3 %	0 %	0 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (延床面積)	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理

<p>平成28年度は約1,000㎡以上のテナント入居があり、前年度と比べ電気・ガスなどエネルギーの使用が多くなり、また昨年度は外気温の変化が前年度より変動があり、比例して温室効果ガスの削減が出来ずむしろ増加する結果となった。</p>	
--	--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

全ビル運用として空調設定温度を夏期＝28度、冬期＝22度に設定し、ウォシュレットの温水機能、暖房便座機能を夏期冬期期間停止し、トイレやその他共用部照明の不必要時消灯や間引きを徹底して行います。
